



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 MRKホールディングス株式会社

コード番号 9980 URL <https://www.mrkholdings.co.jp/>

代表者 （役職名）代表取締役社長

（氏名）岡本 雅文

問合せ先責任者 （役職名）副社長執行役員 経営管理本部長

（氏名）中 研悟 TEL 06-7655-5000

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	4,481	△5.1	△145	—	△56	—	△11	—
2026年3月期第1四半期	4,721	5.9	△458	—	△313	—	△182	—

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 34百万円（－％） 2026年3月期第1四半期 △162百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△0.13	—
2026年3月期第1四半期	△1.85	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	18,462	14,757	79.9
2026年3月期	19,696	15,306	77.7

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 14,757百万円 2026年3月期 15,306百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	0.00	—	1.00	1.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	22,500	6.0	2,000	244.8	2,100	117.3	1,300	39.8	13.47

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	101,295,071株	2026年3月期	101,295,071株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	9,645,603株	2026年3月期	4,762,573株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	94,448,034株	2026年3月期1Q	99,059,937株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、「なりたい自分になるためのきっかけとソリューションを提供する」というブランド価値のもと、お客様の心と身体之美と健康を追求し、お客様の様々なライフステージにおいて高品質な商品と最高のサービスを幅広く提供すべく、補整下着の販売を中心に、化粧品や健康関連商品、マタニティ及びベビー関連商品を販売するとともに、婚礼・宴会関連事業や美容関連事業などを展開し、魅力ある商品・サービスの拡充を推進しております。

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や企業における賃上げの動きが継続するなか、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、エネルギー価格や原材料価格の高止まり、円安基調の継続に加え、中東情勢をはじめとする国際情勢の不安定化や金融市場の変動等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

そのような状況のもと、主力事業である婦人下着及びその関連事業においては、前年同期には基幹商品の価格改定前の需要取り込みがあった一方、当期には当該要因がなかったため、売上高は一時的に減収となりました。

一方、収益性向上を方針とし、販売戦略の見直しによる売上総利益率の改善、店舗網再構築による固定費圧縮、広告宣伝費をはじめとした全社的な経費の最適化を推進し、営業損失、経常損失および親会社株主に帰属する四半期純損失はいずれも前年同期から大幅に縮小しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高44億81百万円（前年同期比5.1%減）、営業損失1億45百万円（前年同期は4億58百万円の営業損失）、経常損失56百万円（前年同期は3億13百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失11百万円（前年同期は1億82百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの概要は次のとおりであります。

[婦人下着及びその関連事業]

婦人下着及びその関連事業においては、補整下着の販売及び美容コスメや健康食品などの美や健康に関連する商品の販売が主要事業であります。

当第1四半期連結累計期間において、前年4月中旬に実施した基幹商品の価格改定に伴う駆け込み需要の反動に加え、前年第3四半期より実施した店舗網再構築（計20店舗の統廃合）の影響により、売上高は一時的に減収となりました。一方で、損益面においては、収益性向上を方針とし、商品構成の見直しによる売上総利益率の改善、店舗網再構築による固定費圧縮、広告宣伝費をはじめとした全社的な経費の最適化を推進し、セグメント損失を縮小いたしました。

以上の結果、売上高は38億79百万円（前年同期比5.5%減）、セグメント損失は1億28百万円（前年同期は4億29百万円のセグメント損失）となりました。

[マタニティ及びベビー関連事業]

マタニティ及びベビー関連事業においては、マタニティ及びベビー向けのアパレルや雑貨の販売が主要事業であります。

当第1四半期連結累計期間において、国内出生数が統計開始以来の最も低い水準となり、引き続き厳しい経営環境が続く中、顧客ニーズを的確に捉えたマタニティインナー商品の販売が好調に推移いたしました。利益面においては、人件費や広告宣伝費等の販売費及び一般管理費が増加したものの、マタニティインナーをはじめとした利益率の高い商品・サービスの販売が増加したことにより売上総利益が増加し、黒字基調で推移いたしました。

以上の結果、売上高は2億50百万円（前年同期比7.9%増）、セグメント利益は7百万円（前年同期は1百万円のセグメント損失）となりました。

[婚礼・宴会関連事業]

婚礼・宴会関連事業においては、結婚式場の運営やカフェ・レストランなどの飲食事業の運営が主要事業であります。

当第1四半期連結累計期間においては、婚礼市場を取り巻く環境変化（招待客の絞り込み、顧客ニーズの多様化など）への対応が引き続き求められる中、特にGRAND FESTA HAKATA（福岡市博多区）においては、施行件数及び成約件数が前年同期を上回ったものの、施行単価の低下により減収となりました。一方、同施設において中長期的な成長に向けた運営体制の強化を目的として、人材投資等を先行して実施いたしました。

以上の結果、売上高は2億20百万円（前年同期比10.0%減）、セグメント損失は18百万円（前年同期は18百万円のセグメント損失）となりました。

[その他]

その他においては、美容関連事業などが主要事業であります。

当第1四半期連結累計期間においては、美容業界全体で採用環境の厳しさが増し、採用活動が計画通りに進捗しなかったこと、また、不採算店舗の整理に加え、前期におけるスタイリストの退職に伴う顧客流出の影響も継続したことから、売上高は前年同期比で減収となりました。一方で、店舗運営の効率化や販管費の最適化をはじめとする収益改善施策を推進した結果、収益性は着実に改善し、セグメント損失は前年同期比で縮小いたしました。

以上の結果、売上高は1億38百万円（前年同期比5.4%減）、セグメント損失は7百万円（前年同期は10百万円のセグメント損失）となりました。

※上記、各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は122億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億38百万円減少いたしました。これは主に、関係会社短期貸付金の減少、現金及び預金の減少の結果によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は61億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億4百万円増加いたしました。これは主に、退職給付に係る資産の増加の結果によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は31億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億75百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金の増加、買掛金の減少及び1年内返済予定の長期借入金の減少の結果によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は5億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円減少いたしました。これは主に、リース債務の減少の結果によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は147億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億48百万円減少いたしました。これは主に、自己株式の増加による減少及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少の結果によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月14日の「2026年3月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,392,524	2,080,058
売掛金	5,548,721	5,523,019
商品	1,217,841	1,179,200
原材料及び貯蔵品	500,633	479,904
関係会社短期貸付金	3,500,000	2,400,000
その他	650,555	820,963
貸倒引当金	△178,883	△190,439
流動資産合計	13,631,391	12,292,707
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,063,112	2,019,562
その他（純額）	1,584,175	1,568,212
有形固定資産合計	3,647,288	3,587,775
無形固定資産	215,003	239,682
投資その他の資産		
その他	2,288,316	2,428,730
貸倒引当金	△85,193	△86,337
投資その他の資産合計	2,203,123	2,342,393
固定資産合計	6,065,415	6,169,851
資産合計	19,696,807	18,462,558

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,492,289	777,316
短期借入金	100,000	349,998
1年内返済予定の長期借入金	267,880	144,522
未払法人税等	70,691	42,178
賞与引当金	125,000	61,140
ポイント引当金	92,000	106,657
株主優待引当金	31,005	30,195
資産除去債務	14,848	14,786
その他	1,666,731	1,657,835
流動負債合計	3,860,447	3,184,632
固定負債		
資産除去債務	454,960	453,882
その他	75,310	66,184
固定負債合計	530,270	520,067
負債合計	4,390,718	3,704,700
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,491,360	6,491,360
資本剰余金	6,473,978	6,473,978
利益剰余金	2,214,867	2,106,421
自己株式	△410,048	△895,921
株主資本合計	14,770,158	14,175,839
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	535,930	582,019
その他の包括利益累計額合計	535,930	582,019
純資産合計	15,306,088	14,757,858
負債純資産合計	19,696,807	18,462,558

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	4,721,200	4,481,519
売上原価	1,192,139	1,082,020
売上総利益	3,529,060	3,399,499
販売費及び一般管理費	3,987,575	3,545,014
営業損失(△)	△458,514	△145,514
営業外収益		
受取利息	102,355	46,042
助成金収入	65,555	48,872
その他	12,768	15,161
営業外収益合計	180,678	110,076
営業外費用		
支払利息	23,489	6,547
支払手数料	7,831	11,776
その他	4,823	2,568
営業外費用合計	36,144	20,892
経常損失(△)	△313,980	△56,330
特別利益		
固定資産売却益	7,273	—
受取保険金	512	1,470
特別利益合計	7,786	1,470
特別損失		
固定資産除却損	263	1,547
災害による損失	—	193
特別損失合計	263	1,741
税金等調整前四半期純損失(△)	△306,457	△56,602
法人税、住民税及び事業税	25,118	23,600
法人税等調整額	△148,642	△68,288
法人税等合計	△123,524	△44,688
四半期純損失(△)	△182,932	△11,913
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△182,932	△11,913

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純損失(△)	△182,932	△11,913
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	20,914	46,088
その他の包括利益合計	20,914	46,088
四半期包括利益	△162,017	34,175
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△162,017	34,175
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	婦人下着及び その関連事業	マタニティ 及びベビー 関連事業	婚礼・宴会 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	4,104,978	232,280	238,744	4,576,002	145,197	4,721,200
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	590	—	5,854	6,444	813	7,257
計	4,105,568	232,280	244,598	4,582,447	146,010	4,728,458
セグメント利益 又は損失(△)	△429,783	△1,093	△18,138	△449,016	△10,428	△459,444

(単位：千円)

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への 売上高	—	4,721,200
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△7,257	—
計	△7,257	4,721,200
セグメント利益 又は損失(△)	930	△458,514

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、美容関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額930千円には、減価償却の調整額が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	婦人下着及び その関連事業	マタニティ 及びベビー 関連事業	婚礼・宴会 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	3,876,184	250,555	216,659	4,343,399	138,120	4,481,519
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3,000	—	3,377	6,377	—	6,377
計	3,879,184	250,555	220,037	4,349,777	138,120	4,487,897
セグメント利益 又は損失 (△)	△128,159	7,769	△18,605	△138,995	△7,334	△146,330

(単位：千円)

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への 売上高	—	4,481,519
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△6,377	—
計	△6,377	4,481,519
セグメント利益 又は損失 (△)	815	△145,514

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、美容関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額815千円には、減価償却の調整額が含まれております。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第1四半期連結累計期間において、2026年2月25日及び2026年5月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式4,883,000株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が485百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が895百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産及び長期前払費用に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	90,136千円	75,294千円